



軽度なら成長に伴い軽快

Q & A

赤ちゃんの頭の形について、日本頭蓋健診治療研究会理事で、自治医科大学大妻医療センター副センター長の細野茂春さんに聞いた。

——なぜ、ゆがむのか。

「赤ちゃんの頭の骨はやわらかいので、自分の頭の重さで平らになつたり、左右が非対称になつたりします。寝ている時に同じ場所がいつも下になる『向き癖』によるものが多いですが、生まれる前の子宮内での姿勢が影響するケースもあります。まれに、頭蓋縫合早期癒合症（癒合症）といふ子じもの難病で変形する例もあります」

——増えているのか。

「うつぶせ寝によつて乳児突然死症候群（SIDS）の危険が高まるといわれ、米国では1994年から、

自治医科大学大妻医療センター副センター長
細野茂春さん



1985年、日本大医学部卒。2018年から同医療センター周産期科教授、23年4月から現職、小児科・周産期儿科教授を併任。日本周産期・新生児医学会理事。

日本でも98年からあおむけ寝が推奨されています。SIDSは4割減ったが、頭の変形は6倍に増えたといふ海外の報告もあります

——予防は？

「変形を防ぐには向き癖を作らないことが理想で、授乳ごとに頭の向きを変えたり、起きている時間にうつぶせになる時間を作つたりする工夫が大切です。ただ、利き手があるように赤ちゃんには好きな向きがあるで、神経質になりすぎ

ます。また、頭蓋縫合早達に影響を与える恐れがあるので、一般的には外科的手術が必要です。向き癖による変形の場合は、私たちには予防に力を入れていま

——治療は？

「癒合症の場合は脳の発達に影響を与える恐れがあるので、一般的には外科的手術が必要です。向き癖による変形の場合は、私たちには予防に入れていました。矯正するため、乳児一人一人の頭の大きさ、形に合わせて作ったヘルメット（次は「痛みと上手に付き合つ」です）

——発達への影響は。

「体の動きの少ない赤ちゃんは頭が変形しやすいと言えます。ただ、変形があるからといって発達が遅れるとは言えません。世界でも研究が進められています」

りますが、公的医療保険の対象外なので40万～60万円の費用が自己負担になります。取り組む医療機関も都市部に限られます。生後半年頃までに始めるといけない「ください」と聞いていたが、「多くは自然に良くなる」と聞いたが、「軽度であれば、寝返りやお座りができるようになると軽快します。一度平らになると向き癖が固定化されやすいので、一見して耳の前後の位置がずれている場合、理想の形まで自然回復を望むのは難しいこともあります。頭の変形は生後4か月では約20%に認められるが、2歳時点では約3%だったとするニュースで、ランドの報告もあります」

——治療は？

「癒合症の場合には脳の発達に影響を与える恐れがあるので、一般的には外科的手術が必要です。向き癖による変形の場合は、私たちには予防に入れていました。矯正するため、乳児一人一人の頭の大きさ、形に合わせて作ったヘルメット（次は「痛みと上手に付き合つ」です）（松田晋一郎）